

第1章 マニュアルの使い方

本マニュアルは、畜産農家において、汚水処理施設の管理が適切になされることを目的にしたものです。汚水処理施設の管理はとても難しく、専門の業者、いわゆる管理のプロに依頼するのが最良の方法です。しかし、全ての管理を依頼すると相当な費用になること、一次処理は畜舎から始まっており管理業者が管理できないことから、施設管理の一部もしくは全てを、農家自身で行っていることが多いです。本マニュアルは、農家自身で管理を行う場合の管理の手始めを示したものであって、管理に十分な技術を紹介するものではありません。判断の難しい部分については、自治体の担当者や施工業者に相談し、できるだけ汚水処理施設管理の専門家に見てもらうことを促すに留めています。

まず、第2章で汚水処理の仕組みを理解していただきます。もし、汚水処理について知識を持っていると思われる方でも、重要なことが記載されているので、ぜひ1度は目を通してください。

次に、第3章では汚水処理の心臓部である活性汚泥の観察方法を、第4章では汚水処理の成果である処理水の観察方法を習得します。また、ここで使用する器具を可能な限りそろえるようにしてください。1Lのメスシリンダーは必須です。

第5章では、1～3で日常管理のポイントを理解していただき、4以降の作業に従って、「自分専用の管理マニュアル」（25ページ）、「管理日誌」（30ページ）、「管理手順書」と「連絡先表」（31ページ）を作成します。

以上で、管理作業の準備ができました。管理作業は、できるだけ毎日行い、きれいな処理水を維持しましょう。

第6章には、よく聞かれる疑問についてのQ&Aを掲載しましたので、参考にしてくださいと思います。